

ICTを活用したイチゴ栽培（大宜味村）

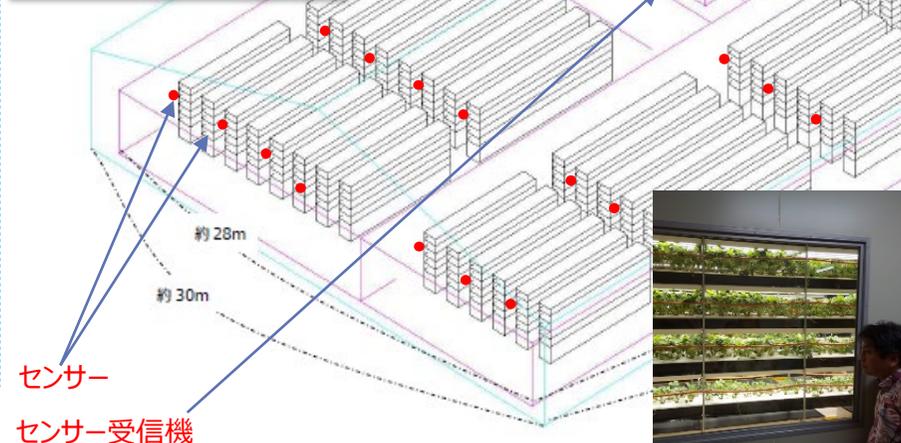
R2.4.1現在

事業者	沖縄セルラー アグリ&マルシェ株式会社
事業概要	閉鎖型植物工場でのイチゴの生産。ICTを活用した自動制御と通知システムを活用。台風や病害虫、沖縄特有の気候条件下でもイチゴを無農薬で栽培するため、環境制御と遠隔監視により高品質な作物の生産を目指す。

- 沖縄県内初のICTを活用した完全密閉型イチゴ栽培
- 栽培株数 約20,000株
- 多段式（5段）水耕栽培
- 照明 LED
- 年間収穫量 約30 t
- 稼働開始 2017年12月
- 収穫開始 2018年6月
- ブランド名 美ら島ベリー
- 特長
 - 年間を通じて安定した収穫が可能。栽培条件を管理することで、味や色に個体差がほとんどなく、品質が安定。
 - 情報通信技術（ICT）の取組温度、湿度、CO2濃度のデータを収集し、イチゴの生育状況との関連性を分析



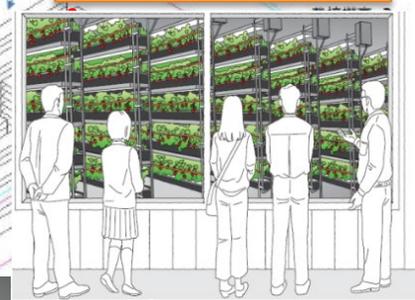
栽培室



冷蔵庫



見学スペース



約43m

